

居場所づくりのABC 第1講 REPORT

2025.09.06(土)10:00~14:00

場所:緑区市民活動支援センター「みどりーむ」

受講生 13 名 運営スタッフ 12 名



令和7年度
居場所づくりのABC
主催: みどりーむ運営委員会 / 緑区社会福祉協議会 / 緑区役所

講師: 杉崎 和久さん

法政大学法学部政治学科/大学院公共政策研究科

専門: 都市計画(地域まちづくり、市民参加)

話題提供の内容

- ・自己紹介
- ・まちの「居場所」に期待する動き
- ・ヨコハマ市民まち普請事業について
- ・まちの拠点に関する研究から
- ・私にとってもまちの居場所づくりとは

受講生の感想(抜粋)

- 杉崎先生のお話を聞いて、居場所づくりに向けてとても参考になりました。講座に出席されている方と6回を通じて交流できるのを楽しみにしています。まずはこの講座が私の居場所になりそうな気がしました。
- 街づくりの視点で居場所づくりを考えると・・・という視点に立って考えることがあまりなかったので楽しく拝聴できました。普段は居場所づくりを「仲間づくりの場」として、仕事で取り組んでいるので新しい発見でした。でも、行きつくところは「居心地の良さ」というところなのが面白かった。

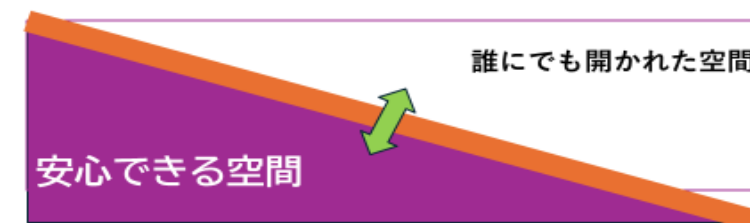
まちの居場所が生み出す価値

- ・小さな空間からはじまる活動によるまちの魅力向上
 - ・生業を含む暮らしとまちへの関わりが一体となっている人の存在(意思を持った空間)
 - ・まちのあるべき姿を構想した活動
 - ・地域内のつながりを生み出す
 - 実空間と活動を結びつける活動
- ・地域のプラットフォームとしての課題解決力向上
 - ・対話を通じた地域資源を持った多様な人々による課題解決
 - 空間を活かす人、地域資源をつなぐ人の存在
- ・多様な居心地の良い空間の存在(多様な選択肢)
 - ・安心できる(居心地の良い)空間の多様さ
 - ・多様な居心地の良さを担保する運営(開き方、余白)
 - 市民運営による公共空間ならではの

19

わたしにとっての居場所づくりとは

- ・誰のための居場所づくりか



- ・私は居場所とどのように関わるか

20

居場所の多様性

店舗型

- ・カフェ
- ・コミュニティカフェ・スペースなど

非店舗型

- ・座談会・集い形式(認知症カフェ、交流会など)

パブリックスペース型

- ・子ども食堂
- ・自治会館サロン

居場所づくりの正解は一つではない

- ・自分なりの居場所を見つける
- ・見学先はヒントのひとつ
- ・「形」よりも大事なことがある
- ・多様な居場所のあり方
- ・完成形を真似する必要はない
- ・居場所を機能で考えてみる
- 「あなた流」の居場所づくり

今日担い手としての第一歩を踏み出す

- ・あなたが地域の種になる
- ・居場所の担い手は市民一人ひとり
- ・形は自由、多様でよい
- ・小さな一歩が地域を変える
- ・仲間と共に育てていくことが大切

第1講の学びを胸に、第2講は、緑区で初めてできたコミュニティカフェ「ぶらっとキリカフェ」訪ねます。次回はその報告をいたします！

居場所づくりのABC 第2講 REPORT

2025. 09. 20(土)10:30~12:30

場所:コミュニティカフェ「ぷらっと kiricafe」(霧が丘)

受講生名 13 名 見学 1 名 運営スタッフ8名



ぷらっと kiricafe 運営:NPO 法人霧が丘ぷらっとほーむ
共同代表 武蔵 幸恵さん



Data

緑区で初めてのコミュニティカフェ(ヨコハマ市民まち普請事業に採択され最大 500 万円の補助金とクラウドファンディングで整備)

2023年1月「ぷらっと kiricafe」オープン 現在、カフェを中心に活動中。

運営は:NPO 法人霧が丘ぷらっとほーむ

学びのポイント

- ・霧が丘はどんな街・・高齢化、インドの方が約800 人暮らす街へと変化
- ・霧が丘の地域課題・・気軽に立ち寄れる場所がない、文化、生活時間の違いによる問題
- ・核家族化による子育て世代の孤立

シニア世代 多文化交流 多世代とつながる助け合い 3つの活動団体の情報の会から活動がはじまり、まち普請への挑戦となった！

「違いを楽しむ」「巻き込み力と余白作り」「楽しみながらつながる」

やさしい街づくりをこれからも進めたい。

受講生 学びのふりかえりより(抜粋)



- 共同代表の人柄によるところが大きいかなと思いました。ネットワーク力、巻き込む力がすごい！
スタートの経緯・活動内容を知ることができて有意義でした。私自身も何らかの形でこのような活動に関わってみたいと思いました。
- 自分たちが楽しめること、すごく大事だと思います。
完成品を提供することが当たり前になってしまっている中で、やりたいを表現する場、余白を残すこと、自分の居場所・役割を作ることがとても大切だと思いました。
- ぷらっとキリカフェを維持していく財源の確保は大変だと思います。何か良い方法が見つかったら教えてください。もちろん、私も考えたいと思います。
- 初めて訪れた kiricafe、とても温かい感じでボランティアさんも同じ想いで一緒に活動されているのが伝わって来ました。地域のことを良く調べ、活動を進めていらっしゃる事が素晴らしいと感じました。
- 今回キリカフェの成り立ちや詳しいことをよく知ることができて、とても興味深く、参考になりました。お話がわかりやすく楽しく聞けました。私の住む街にもこんな場所ができたらいいなと思いました。

次回は緑区社会福祉協議会が応援する「お散歩カフェ」について報告します！

居場所づくりのABC 第3講 REPORT

2025. 10.04(土)10:00~13:00

場所:にいほる里山交流センター つどいの家

受講生名 14名 運営スタッフ8名

学びのポイント

- 緑区社会福祉協議会の取組「お散歩カフェ」を学ぶ。
- 「お散歩カフェ」を開いているナビゲーターから事例紹介
- Good★day(新治町)
- Kiitos (キートス)(鴨居)
- にいほる里山交流センターについて学ぶ(新治町)



「お散歩カフェ」 その壱 誕生秘話

最初はこんな「お散歩カフェ」を提案

「そっとベンチやパラソルを置いてみて、そこにまちを行き交う誰かが座ってくれて、**気軽に集える場**ができて、さらに会話が生まれれば、ちょっと嬉しい気持ちになりませんか。」



- ふだんの日:ベンチを設置しておき、気軽に立ち寄れる、休憩できる場
- おもてなしの日:世話人の方にいていただき、ふだんの日と同様休憩しつつ、おしゃべりをしたり、飲み物などを持ち寄ったりして交流できる集いの場

「お散歩カフェ」 その弐 お散歩カフェとは

どんな取組・・・

「お散歩カフェ」は、世話人となる方が見守りながら、身近なところに暮らす高齢者・障害者・子育て世代等、近隣住民が気軽に立ち寄り、安心して自由に休憩や交流ができる、**ゆるやかなつながりづくりのための交流の場**です。



緑区社協ではお散歩カフェをやってみようという方・団体に、オリジナルの「のぼり」を作成し、無料でお渡ししているんだよ。



「お散歩カフェ」 その参 お散歩カフェとは

コンセプト

「縁側」のような気軽な場を利用して顔を合わせることから始める近所づきあい」

- ・地域住民同士を「つなぐ場」
- ・他人と気軽に「コミュニケーションがとれる場」
- ・互いに「顔を合わせられる場」



「カフェ」って言っても喫茶店じゃないんだよな～



「お散歩カフェ」 今度は皆さんの番です

「お散歩カフェ」は十人十色です

自分の居場所をつくる、家族のための居場所をつくる、近所の気になる人のための居場所をつくる、新しい人と出会うために居場所をつくる。

自分の得意を活かす。家族の得意を活かす。近所の気になる人の得意を活かす。立ち寄ってくれた人の得意を活かす。

自宅の庭でベランダで。自治会館を借りたり。事務所や施設の敷地の一部を使ったり。

活動時は近隣への配慮を忘れないでね。食べ物を出す場合は、衛生面に十分に気を付けてください。

近隣住民同士の**ゆるやかなつながりづくり**として、自分自身が**地域とのつながりをもつきっかけ**として。



受講生 学びのふりかえりより(抜粋)

- お散歩カフェの取組を始めて知り、素晴らしいアイデアだなと思いました。そして、取り組まれている皆様が魅力的で、人を惹きつける力をお持ちで成功するには人間力も必要だなと痛感しました。
- それぞれの居場所づくりの活動についてお話をお伺いすることができ、皆さまの熱意が伝わってきました。前回の kiri カフェさんでも、やる側が楽しめることが一番と言われていましたが、それがボランティアでやっていく原動力だと思います。
- 住み開きは家族の協力と理解がないと、難しいと常々感じていました。それができているご家族に拍手をおくります。また、住み開きの前に、人との交流、地盤づくりが大切だとも、お話を聞いていて感じました。
- お散歩カフェは居場所づくりのはじめの一歩として活用してみたいと思いました。
- (居場所づくりは)私は個人でというよりも何人かで意見を出し合いながら何かをしたいのかもしれません。残り3回の講座の中でもう少し自分に問いかけてみたいと思います。

次回はワークショップで居場所についてみんなで考えます！

お散歩カフェ Kiitos について

きっかけ ひとまち卒業生の「お散歩カフェ」に参加したこと
目的 地域の方との交流
現状 場所は自宅ガレージ→現在は自宅ガレージ(いづれもデントとガーデンチェア・&デスクを備える)気候の良い季節を選んで月一開催・雨天中止
3.4.5.6.9.10.11月の第4水曜日
10時から14時(15時)
参加人数 4~5名(常連さん3名)
告知はビジネスLINE(ひとまちスグー(卒業生有志の事後グループ)・自宅カフェのところでチラシ(あれば)・口コミ・旗
参加費用は500円(手作りケーキとコーヒーのセット価格)

手作りパン販売 & 自宅カフェについて

きっかけ 埼玉在住の友人が先駆けて自宅カフェを開業していた。そこを訪れた時に決めた。
目的 当初、パン販売は人集めのためで、目的は自宅/リビングでの交流会だった。パン販売に人が出てきたので、どちらに特化した(その為、保健所の許可を得た)パンを購入するご近所の方たちの交流の場になっている
告知はご近所向けにリーフレット配布(100部~200部)・ビジネスLINEにて発信販売利益をしっかりと計上する(白色申告をしている)

住み開きを行うについて

ご近所に配慮する
家族の理解を得る
いつでも方向転換できる柔軟さを持つておく

お散歩カフェ

Good★day

毎週水曜日 10:00~夕方まで
敷地の途中の休憩 & おしゃべりの場

「のぼり」と「看板」が目印

「お散歩カフェ」で「のぼり」を掲げた近所住民の皆さんが、お散歩カフェの魅力を語り合っています。

※お散歩カフェは、100円(コーヒー、紅茶、ハーブティー等)の寄付金(お散歩・おしゃべり・おしゃべり・おしゃべり)をいただくことで、お散歩カフェの運営に貢献することができます。



秋のにいほる里山交流センターを見学。自然を存分に活かした居場所がここにあった。雨模様のため「Good★day」訪問は中止となった。

居場所づくりのABC 第4講 REPORT

2025. 10.25(土)10:00~14:00

場所:緑区市民活動支援センター「みどりーむ」

受講生名 13 名 運営スタッフ 10 名

アマチュア

セミプロ

プロ

みんなの「特技」を「プロ」「セミプロ」「アマチュア」で発表しよう！

「プロ」は自称でいいのです！「自信がある」「教えられる」たくさんのプロフェッショナルが集まった。力を貸してほしいときの指標になったり、会話が弾む糸口になったりのアイスブレイクを学ぶ。

(左のダーツに付箋紙を貼りました)

プロ

- ・パン・お菓子作り・整理収納・けん玉・介護の知識・絵手紙・新聞紙アート・簡単イラストメモ・山歩き・イベント企画・華道
- ・誰にでも話しかけることができる・補佐役が得意・などなど

セミプロ

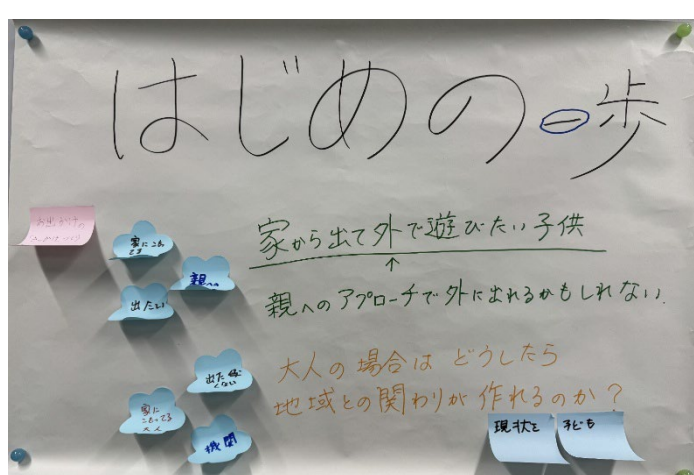
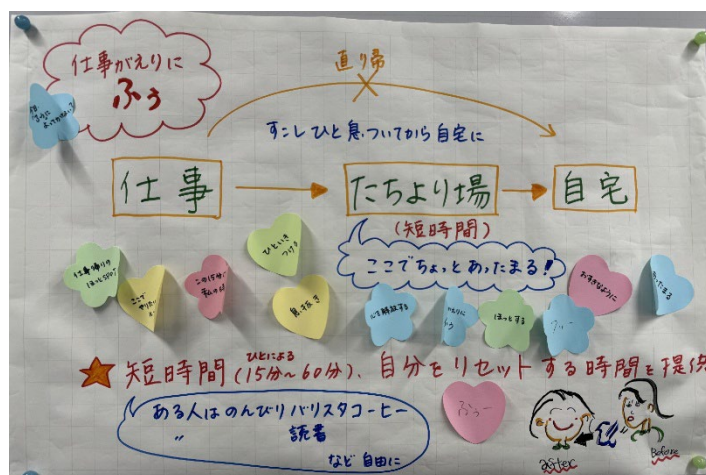
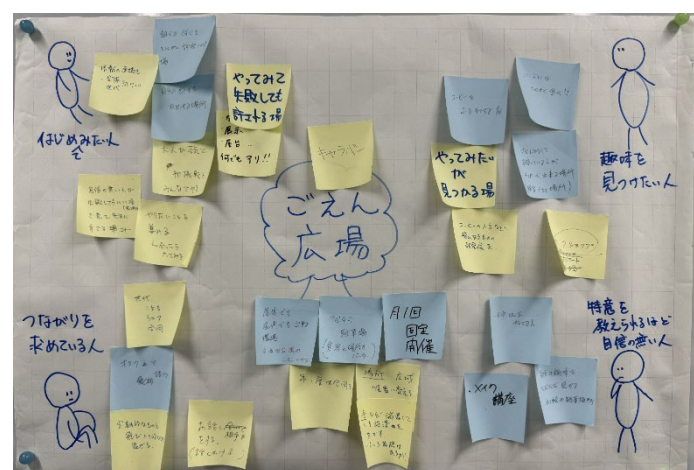
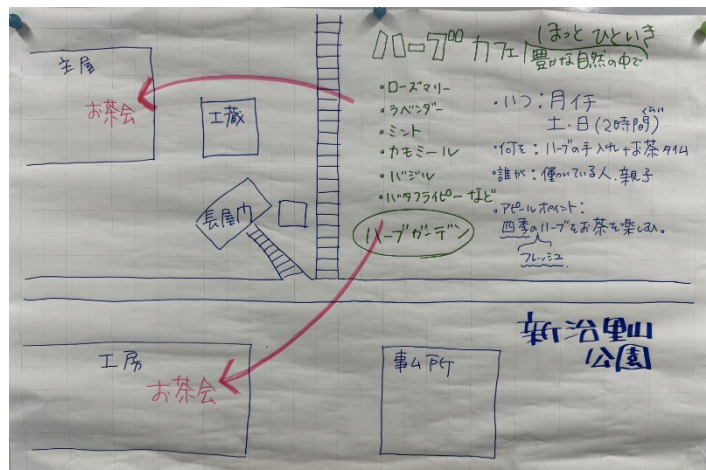
- ・まち歩き・薬の知識・珈琲ドリップ・ガーデニング（ハーブ）・旅行計画
- ・ものづくり・筆記具の知識・ひじきを煮ること・笑うなどなど

アマチュア

- ・弁当作り・合気道・カフェ巡り・ランニング・水泳・習字・二宮金次郎研究・おせっかいを焼くこと・珈琲焙煎などなど

みんなの発表に驚きあり、笑いあいの楽しい時間

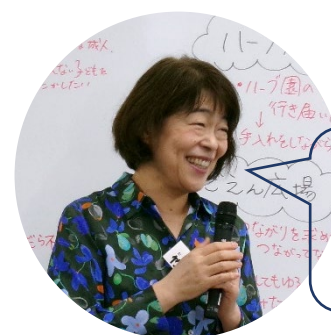
やってみたい居場所についてプロジェクトチームをつくろう！



居場所プランは
生まれたばかり。
このプランがどう
変化していくか、
ブラッシュアップは
第5講で！

プラン名

- ハーブカフェ
- ごえん広場
- 仕事帰りにふー
- はじめの歩



竹迫です。

第5講もがんばり
ましょうね

学びのポイント

- 特技ダーツでお互いの魅力を知ろう！
- 緑区にある「居場所」を分析してみよう！
- やってみたい「居場所」について共有し、プラン作りに向けたプロジェクトチームをつくろう！

受講生 学びのふりかえりより(抜粋)



- 皆さんの特技を伺って多彩な方々がご参加されていることに驚きました。
(仲間の)提案を形にすれば、ハーブを核にした素敵な居場所づくりができ
ると思います。
- 近いことを考えている人がたくさんいるなと感じました。そして実はすごい
人もたくさんいるなと感じました。自信が無い人、やってみたいけどできて
いない人、そんな人が活き活きとハードル低くやってみられると自信を持っ
てできるようになる。そんな人が増えることが大切に感じました。
- みなさん色々な特技や趣味をお持ちで、話を聞いていて楽しかったです。
地域や世の中の課題を解決できる居場所が作れるといいなと感じました。
- 自分の考えていることと似た事を考えている人がいてホッとしました。
ずっとぐるぐる回ってしまいましたが、少し前に進めました。
- とてもよい話し合いができて楽しかったです。ファシリテーター竹迫さんの進
行とても分かりやすくみんなで進めやすかったです。
- 居場所づくりのイメージについて、自分自身の考えはあまりまとまっていなか
ったが、同じような考えを持っている仲間と出会え、アイデアを出す中で少
し具体的なコンセプトを思い描くことができて興味深かった。
- 自分の活動をイメージした時に自分が「笑顔にしたい対象」が外に出ることが
難しい方を対象にしたいので最後の発表はとても苦労しました。話をしなが
ら同じ思いの仲間に出会えたことはとても良かったです。居場所のイメージ&
マッチングはとても良かったです。

次回のワークショップでは、居場所プランをさらに考えます！

居場所づくりのABC 第5講 REPORT

2025. 11月8日(土)10:00~14:00

場所:緑区市民活動支援センター「みどりーむ」

受講生名 10名 見学1名 運営スタッフ 10名



それぞれのプラン
に意見をもらって
育てましょう！



4講のプランをみんなで意見交換しながら居場所立ち上げの第一歩を磨きましょう！
居場所のイメージを描く⇒伝える⇒アドバイスを活かすを学びましょう！
ナビさんもよろしくお願いします。

学びのポイント

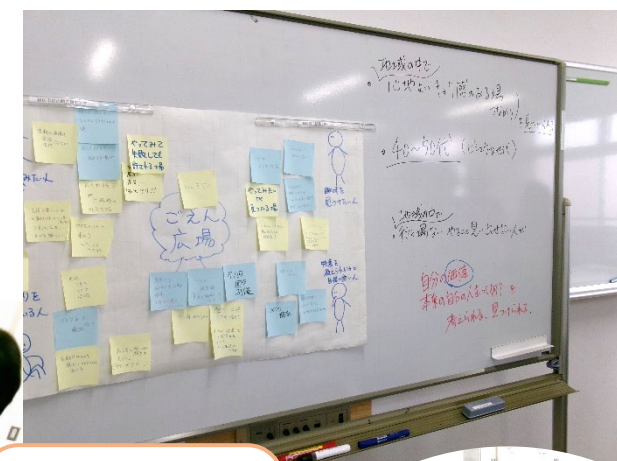
- 居場所プランづくり 居場所の名前も考えよう！
- 居場所プラン発表会 みんなの意見、感想をもらおう！
- 交流タイム 第6講の発表に向けてプランをブラッシュアップ！



仕事帰りに
「ほっと」する場
いいですね～



「絵図」を書いてみ
ると思いが伝わる
ね。

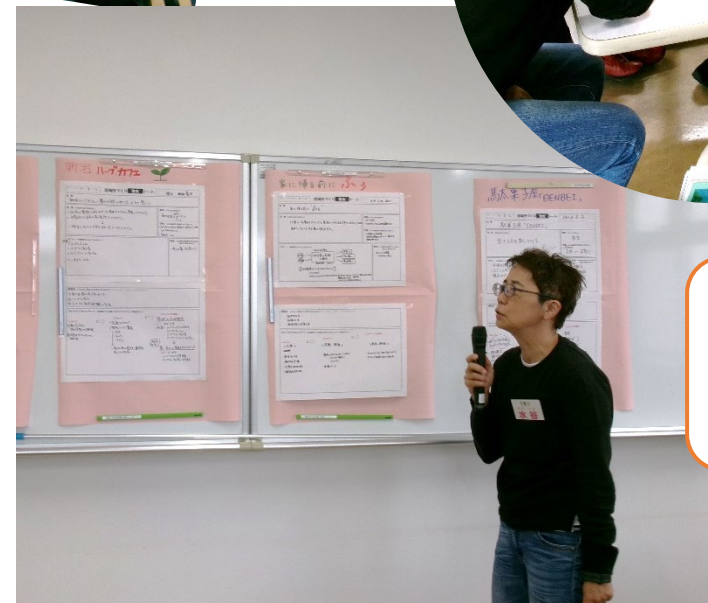


グループは年齢層の幅
がありましたが、その
世代なりの考え方がわ
かってとてもよかった

受講生 学びのふりかえりより(抜粋)



- 色々な方々のご意見を頂き、「かたち」が見えてきたことがありがたいです。一歩一歩ゆっくりとまわりを見ながら進めていきたいと思いました。
- 子ども食堂を考えていましたが、駄菓子屋もやりたいと考えていたので話してみると、こちらの反応が皆さんによかったので具体的にこちらで進めることにしました。夢を思い出しつつ、ワクワクが戻ってきたので、実現に向けて進めようと思いました。ナビの方々の助言で何とか進めそうです。ナビの方々の助言で何とか進めそうです。
- 3人で考えたことについて多くの方からコメントをいただいたことは、新しい気づきに繋がりました。地域で新しい活動を進めていくには3人だけで無理しなくても、地域の中の多くの方のご協力を得ることで大きく前に進むと感じました。
- 骨太シートにメンバーそれぞれの考えをまとめて一つのプランにつくりあげる作業が面白かった。作業をする中で、それぞれのメンバーの得意なことや役割を分かってよかった。



6講の発表に向け
て「伝える」内容を
確認中。

プレ開催を視野に
煮詰めたい！
まず施設へ相談に
行こう。



次回はいよいよ第6講(最終講)プランを発表します！

居場所づくりのABC 第6講 REPORT

2025年11月29日(土)10:00~14:00
場所:緑区役所 4階 AB 会議室
受講生名 12名 見学1名 運営スタッフ 11名

学びのポイント

- 「居場所づくりプラン」発表会 みんなで共有しよう！
- 「まちを魅力的にする大きなはじめの一步」
講師:杉崎和久さん(法政大学法学部政治学科/大学院公共政策研究科専門:都市計画(地域まちづくり、市民参加))
- 交流タイム ~つながりを深めよう~

居場所の6つのプランが誕生

新治ハーブカフェ~豊かな自然の中でホッとひと息~



子育てを楽しく!「いこう! いこい場」



家に帰るまえに「ふう」



ごえん 広場

~心地良い距離感でいろんなジブンが見つかる場~



Kikkake turning Point(四葉のクローバー)



駄菓子屋「DENBEI」× 縁側修理屋さん



講座から「居場所プラン」ができました! これからの展開にご期待ください!



プランのひとつをピックアップ

私のプランは『駄菓子屋「DENBEI」×縁側修理屋さん』です。自宅の縁側を改修して、誰もが気軽に立ち寄り自然につながり合える地域の居場所を作りたいと考えました。「DENBEI」(デンベイ)は、昔の屋号から名づけました。小学1年生の見守りも含め駄菓子屋でおやつを食べられる居場所としてスタートできたらと思っています。

講師からのひとこと

駄菓子は、子どもはもちろん大人にも思い出があり多世代が楽しめる。どんな居場所にも駄菓子があると人が集まってくる。まさにキラコンテンツ!となる。



講話:「まちを魅力的にする「大きな」はじめの一步」より
(抜粋)

- ・居場所運営の発展が活動を成長させる
チームづくり、協力者とのネットワーク、財源の確保
- ・持続性を高める居場所をささえるスタンス
身の丈サイズでの活動、初心を忘れず、
「ジワジワ、コツコツ、めげない」
活動をはじめると背負うものが多くなるけれどスタート時の『心』を見つめ直す時間も大切に。

たくさんの居場所があることは、安心して豊かに暮らすことができる街を実現させる。

受講生 アンケートより(抜粋)



- kiricafé はじめ区内の活動を知ることができてとても参考になり、まちへの関心が高まりました。そして何より新たな出会いがあり、地域とつながるきっかけをいただきました。
- 居場所づくりについて関心を持っている方と個々の考えを伺うことで自分の考えを整理する機会となった。毎回、楽しみに講座に参加していた。居場所づくりについて自分事としてじっくり考えたり、人とつながれる機会になったと思う。

●有意義な講座でした。たくさんの市民の方々がより良い「まちづくり」、人をつくり、出会いと楽しみの提供について真剣に取り組んでいる様子がありました。専門の講師のお二人の話は、その方法論までわかり参考になりました。

●つながりが広がった感が特に大きい。これからの(化学)変化に希望を持ちました。いろいろな活動に参加したい。